

森永ヒ素ミルク中毒事件未開封缶の企画展示のご案内

ヒ素が混入した粉ミルクを飲用した多数の乳幼児がヒ素中毒に罹患し死傷した１９５５年（昭和３０年）の「森永ヒ素ミルク中毒事件」につきまして、岡山大学医学部医学資料室での企画展示に続き、津島地区でも下記の要領で企画展示を実施することとなりました。

この事件では、１万３千人超が被害を受け、１３０名が死亡したと認定されており、今なおその後遺症に苦しんでいる方が多数いらっしゃいます。津島地区での展示でも、未開封缶のほか、患者様のカルテ（写真。氏名等の個人情報が特定できないように加工したうえで公開）、当時の新聞記事（複写）など、医学資料室で展示された資料をそのまま展示し、事件の全体像を把握できる内容としております。

事件は、食品製造者の過失責任をどう考えるか、過失犯における予見可能性をどのように考えるべきかなど、法理論的にも多くの課題を投げかけるものでした。事件について知る貴重な機会と思いますので、是非、見学をいただければと思います。

記

期間 令和６年５月２０日（月）～５月３１日（金）（土・日曜日を除く）

場所 文法経２号館１階 １１１室

時間 展示物の性質上、常時部屋を公開するかたちでご覧いただくことが適いません。下記の日時にお越し下さい。

５月２０日（月）１０時～１２時、１６時～１７時

５月２１日（火）１０時～１２時、１４時～１６時

５月２３日（木）１０時～１２時

５月２７日（月）１０時～１２時、１６時～１７時

５月２８日（火）１０時～１２時、１３時～１５時

５月２９日（水）１０時～１２時、１３時～１５時

５月３１日（金）１０時～１２時、１３時～１５時

本件担当

大学院社会文化科学研究科等事務部法務研究科教務担当

Tel：086-251-7353

企画責任者 学術研究院法務学域教授 神例康博

以上